

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	広域交通管制システムの更新整備及び維持管理		担当部局	交通局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成32年度		担当課室	交通規制課		交通規制課長 和田 昭夫			
会計区分	一般会計		政策・施策名	複数施策(1～7)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	広域交通管制システムは平成12年度に整備を行ったが、経年により劣化したため、平成24年7月に更新を実施し、新システムで運用を開始している。更新整備後は、これまで毎年契約していた維持管理業務についても平成33年2月まで一括して、公共サービス改革法に基づく民間競争入札を実施した。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	広域交通管制システムは、平成7年に発生した阪神淡路大震災を教訓として、警察庁において人手を介さずに的確な交通情報を把握することを目的として平成12年に整備を行った。都道府県警察の交通管制システムから、渋滞情報、旅行時間情報、交通量、交通監視画像等のデータを警察庁へ集約し、災害発生時や大規模警備時に関連道路の交通量、規制等を把握し、関係都道府県警察へ交通規制等に関する指示・指導を行うため整備する。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	902	120	22			
		繰越し等	-	0	0	0			
		計	-	902	120	22			
	執行額	-	408	120					
	執行率(%)	-	45%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) 仕様書の機能性能を満たす機器の納入及び維持管理 (成果実績) 整備数			成果実績	式	-	1	1	-
				達成度	%	-	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	同上			活動実績 (当初見込み)	式	-	1 (1)	1 (1)	- (1)
単位当たりコスト	527,425,500(円 / 整備経費等1式)			算出根拠	整備経費等総額(機器購入費等)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	雑役務費	22							
	計	22							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			通行止めや渋滞など関連道路網の広域的な交通情報を迅速・的確に把握して、災害発生時や大規模な警備実施時に、交通規制や迂回誘導を全国的な観点から適切に行われるようにするためのシステムである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			システムの調達と不可分な関係にある保守業務について、一括して複数年の契約をする調達を実施した結果、適切な競争原理が働き、大幅な経費削減となった。公共サービス改革法に基づく民間競争入札を実施し、民間による創意・工夫の発揮や競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単位当たりコストの水準は妥当か。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			機器の納入に当たり、設計書の事前確認及び製造工場での検査を行い、仕様書の機能性能を満たしていることを確認した上で納入させた。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、警察庁が直接契約していることから、支出先・使途を把握している。 2 見直しの余地 事業実施に当たっては、一般競争入札を行っており、競争性も確保されている。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	新23-6	平成24年	62

警察庁
120百万円

(広域交通管制システムの更新整備に必要な設置工事費と維持管理業務に要する予算を支出)



【一般競争入札(総合評価落札方式)】

A. 沖電気工業株式会社(1社)
120百万円

(広域交通管制システムの更新整備に必要な設置工事費と維持管理業務を実施)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 沖電気工業(株)			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	広域交通管制システムの更新整備及び維持管理業務	120			
計		120	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖電気工業(株)	広域交通管制システムの更新整備及び維持管理業務	120	4	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					